

令和3年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名				施設番号	K
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和3年度)	改善計画 (令和3年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和4年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和4年4月30日時点)	
について	<p>コロナ禍で家族とはさまざまな交流を試みている。しかし、こうした限定的な方法では、利用者への思いが満たされない家族もいるのではないだろうか。家族のPCR検査などの実施、利用者や家族でワクチン2回接種者への対応基準を設ける、などにより工夫する事ができないだろうか。マイクを使いガラスの窓越しの面会、手指消毒を徹底しての、またはアクリル板越しに手を握りあう接触の工夫、敷地内の庭で距離を取った面会、週1回程度の電話や手紙、メールでの連絡、動画配信などの工夫を期待したい。</p>	<p>面会の場所や方法、回数等をその時の感染者数や状況を見ながら、できる限り御家族様の満足に近づけるように工夫をしていく。また、リモートでの面会も継続しながら、利用者の状態によっては感染対策をした上での居室での面会など、その時々々の状況を鑑みながら対応を行っていく。面会以外でも、施設からの手紙や電話連絡など、職員、利用者とその家族の関係が薄くならないように工夫をしていく。</p>	<p>1 実施済み</p> <p>2 実施予定(令和4年5月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p> <p>感染者数を鑑みながら、その時々々に合わせた面会方法を策定していく。</p> <p>また、個別の事例に合わせた方法を都度検討していく。</p> <p>また、手紙や電話、その他の面会以外の工夫や方法についても、リーダー会議などを活用しながら、施設全体として共有していく。</p>	<p>1 実施済み (年 月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>	
について	<p>新型コロナ禍以前は、地域の図書館や公園、買い物など入居者の希望に応じて外出していた。しかし、コロナ禍により外出もできない為、入居者の特性に応じてユニット毎に身体を動かす取り組みを実施している。個別に身体を動かす時間を作ったり、散歩や掃除、料理などの生活リハビリを中心に機能維持に努めている。コロナ禍の状況が続く中、引き続き、これまで以上に機能維持に向けた取り組みを期待する。</p>	<p>敷地内の散歩や、ユニット内で行えるイベントへの参加など、今のコロナ禍でもできる事をユニットや施設にて話し合いながら、利用者の機能維持への取り組みを行っていく。</p> <p>また、取り組みに関してはユニットだけでなく、施設全体として共有をしていく。</p>	<p>1 実施済み</p> <p>2 実施予定(令和4年5月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p> <p>ユニット会議やリーダー会議などを活用しながら、どんな事ができるか話し合い、共有していく。</p> <p>また、実際に行った事についても、報告書にまとめながら、振り返りと施設での共有ができるように準備、実施していく。</p>	<p>1 実施済み (年 月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>	
について	<p>防災訓練は年2回の実施しており、そのうちの1回は新人職員に消火器の使い方や避難経路や防災設備などの説明をおこなっている。BCPも策定され、大規模災害時の対応を明文化している。今後はBCP(事業継続計画)に基づいた訓練をおこない、より実践的なBCPとなることを期待する。</p>	<p>施設にて策定したBCPに基づいて、職員間での情報共有や、実際の動き方について訓練を行う。</p>	<p>1 実施済み</p> <p>2 実施予定(令和 年 月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p> <p>令和3年12月10日に、策定されたBCPを基に、読み合わせと、実際の動きについて確認を行った。またその際に必要な物品等についても実際に使用しながら、訓練を行った。</p>	<p>1 実施済み (年 月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>	

※この様式は、「令和3年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。